在自 宋	工業宣生	 專門学校		 開講年度	平成29年度 (2017年度)	坦	業科目	日本学			
		「 			1 ルルムシ十/又(<u> </u>	1Z	<u>未11口</u>	」山本子	מוום הו		
科目基礎	疋旧牧					T11== ::						
科目番号		0028				科目区分		一般/選				
授業形態	影 授業					単位の種別と	単位数	学修単位: 2				
開設学科 専攻科一般科目				目・共通専門科	4目	対象学年		1				
開設期後期					週時間数	2						
			藤十角	駅の恋・恩讐の	D彼方に』(新潮文	(庫) ほかプロ	<u> </u>					
担当教員	(1)	加田謙一				(4) (16/3 /)	/ / I CEU	112				
			띠									
到達目標												
1. 近代小 2. 文芸的	へ説を意味論 対理会を深め	論的に読解で)、各自の読	きる。 解を路	当まえて論じる	ことができる。							
ルーブリ	ノック											
				到達レベルの	理想的な到過 (良)	達レベルの目安 理想的な (可)		2到達レベルの目安		不可		
				における「封発	建思							
意味論的理解 文芸的理解		想] きる を躍	についる。まだ さまえて	いて理会し説 た、各自の歴 て論じることが	明で 日本近代にま 史観 想 について	想」について理会し説明で 想 きる。 文芸作品における「封建思 文		文芸作品における「封建思		江山に到達してない。		
		想」	手作品(の描)	における「封 かれ方につい ^っ	て理「文芸作品にお							
		自の	○し説明できる。また、各 想」の描かれ 目の読解を踏まえて論じる 会し説明でき とができる。			さる。	る。			左記に到達 しさない		
学科の到	到達目標項	頁目との関	係									
		析者倫理を身		 ける。 B-1								
教育方法												
水月八万	ム 기	_ _ =# /_⊥	芦丛 =	ᇎᄼᆑᇩᇄᆉ	**************************************	= 4.77 ロー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー・ハー	シューナハナマ	Γ±47+ == +5	31 /	ナロムナングロ	占っる用土	
概要		観を形成	なするこ	こと目的とする								
授業の進め	め方・方法	も行う。			発表者を決めて、演 							
注意点		発表者は 参加する	発表し	こ際してレジ <u>ニ</u>	1メ(レポート : 誤	は として提出)	を作成する	ること。第	6表者以外	の受講者も積極	対に討議に	
車前 =	■	オフィス										
		<u> </u>	()'')	<u> </u>								
授業計画	<u> </u>											
		週	授業	内容			週ごと	の到達目	票			
		1週	井筒	俊彦「意味論原	 茅説		意味論	意味論とは何かを理会し、説明できる。				
		2週	同上					同上				
											ニクスト中の	
		3週	「恩を返す話」				「封建思想」について論じることができる。				, シストテの る。	
	2"40	4週						同上				
	3rdQ	5週						同上				
			「恩讐の彼方に」									
		6週	「藤十郎の恋」					同上				
後期		7週	「ある恋の話」				同上					
		8週	「極楽」「形」				同上					
	4thQ	9週	「蘭学事始」				同上	同上				
		10週	「入	<u> </u>		同上						
		11週	「俊				同上					
		12週	伊藤博之「風狂の文学」				文芸の	ュニ 文芸の享受が、各時代の世相に影響を受けることを 会し、説明できる。				
		13週	同上					云し、 就明 Ce る。 同上				
		14週	まと	め			日本近代における「封建思想」 自らの歴史観を形成できる。				里会を深め、	
		15週 振り泊)返りと試験			1 300 EXBIGERORY CC.					
		16週										
			/ 574 414	hos cana								
	<u>」//カリ=</u>		ノ子省	内容と到達						1	I	
分類		分野		学習内容	学習内容の到達目					到達レベル	授業週	
				国語 -	論理的な文章を読み、論理の構成や展開の把握にもとづい を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。また 理的な文章の代表的構成法を理解できる。		づいて論 。また、	旨 論 4				
	九文・神	<u>,</u>			代表的な文学作品を読み、人物・情景・心情の描写ならびに描写 意図などを理解して味わうとともに、その効果について説明でき る。							
	+ 1八× °1	^{工工} 国語			文章を客観的に理解し、人間・社会・自然などについて考め、広げることができる。		て考えを	涇	1			
基礎的能力	科学				文章を各観的に理 め、広げることが	脾し、人间・仕 できる。	-云・日然/	&CIC 20		4		

			教材として取り上に の言葉とのつながり 的知識を習得できる)や、時代背景など	用いられている言 に関する古文・漢	葉の現代 文の基礎 4		
		1	他者の口頭によるも ともに建設的に助言 函養に努めるととも ,	5のを含む表現にで 5し、多角的な理解 5に、自己の表現の	Oいて、客観的に評解力、柔軟な発想・I D向上に資すること	価すると 思考力の ができる 4		
		相手の意見を理解して要約し、他者の視点を尊重しつつ、建設的かつ論理的に自らの考えを構築し、合意形成にむけて口頭によるコミュニケーションをとることができる。また、自らのコミュニケーションスキルを改善する方法を習得できる。						
			社会で使用される言葉を始め広く日本語を習得し、その意味や用 法を理解できる。また、それらを適切に用い、社会的コミュニケ ーションとして実践できる。					
評価割合								
	試験	課題提出	相互評価	討論	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	80	10	0	10	0	0	100	
基礎的能力	80	10	0	10	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	